



熊野町立熊野第一小学校
令和5年7月12日
校長 水戸 美穂子

くまいち四季折々

毎日暑い日が続いています。大切に育てている花や野菜が枯れないように子供たちは毎朝の水やりを忘れず頑張っています。2年生も生活科の学習で一人一鉢、自分の好きな野菜を育てています。ナスやピーマン、プチトマト、キュウリなど少しずつ実が大きくなって育っています。そんな2年生の教室前には、「おいしくなあれ大きくせん!」と書いておいしい野菜の育て方の作戦が掲示されています。その中には「気持ちを込める」「声をかける」「かぞくだとおもってそだてる」など優しい心があふれています。もうすぐ収穫できる時期になります。子供たちが喜ぶ笑顔が見られるのが楽しみです。



ふるさとを愛し、愛される熊一小

3年生は総合的な学習の時間に「熊野第一小学校の自慢を見付けよう」という学習を春から進めてきています。学校の色々な場所を探検する中で校舎前にある「坊田かずまの碑」を見て「坊田かずまさんて誰なんだろう?どうしてここにあるんだろう?」と疑問をもった子供たち。先生や地域の方の協力を得て、「坊田かずまの会」の坊田謙治さんと小田克文さんがよく知っておられるということを知り、早速電話をかけてお話をさせていただきをお願いしました。すると、お二人とも快く引き受けてくださり、6月15日(木)に小学校で「坊田かずま」についてお話を聞く機会をもつことができました。そして、なんと、坊田かずまの作った歌を生演奏で子供たちに聞かせてあげようと地域のコーラスサークル「コーロ・デ・ヒラソル」の方々も来てくださいました。当日は、坊田かずまが残した偉業だけでなく、かずまがふるさと熊野から東京に向かった経緯や音楽づくりへの熱い思いなども教えていただきました。また、かずまの声が録音されたレコードを蓄音機で聴かせてもいただきました。その後、「コーロ・デ・ヒラソル」の方の歌声を聞き最後に子供たちも一緒に「赤い絵日傘」を歌いました。後日、「コーロ・デ・ヒラソル」の皆さんから温かいお手紙を頂き大喜びの子供たち。お返しのお手紙を書こうと計画を進めています。

また、探検の中で学校の校歌には4番の歌詞があったことやビオトープの歴史について知りたいと思った子供たち。今度は元PTA会長の京面さんをお願いすると、またまた快く引き受けてくださり、6月28日(水)に学校でお話をさせていただきました。校歌や校舎、ビオトープがたくさんの方々の思いや協力があって出来上がったことなどを教えていただきました。

子供たちが知りたいと思ったことにすぐに答えてくださる温かい地域の方に支えられていることを改めて実感しました。本当に感謝です。子供たちのノートには学んだことがたくさん書かれていました。熊野第一小の自慢をしっかりと見つけられたと思います。

